

## 札幌市立発寒東小学校の取組【環境：地域・外部人材活用】

### 1. 研究のねらい

本校のある発寒北地区には「発寒北商店街振興組合（ハツキタ倶楽部）」があり、エコ活動を中心に安心・安全なまちづくりのための様々な活動を行っている。本校では、この地域の特色を活かした環境を本校の特色ある教育活動の一つとして教育課程に位置付けている。

5・6年生では総合的な学習の時間に地域と環境について学習している。また全校行事として地域の環境を美しくする活動を取り入れ、ふるさとの人々の交流を通し、地域環境を守り続けようという意識を育んでいく。

### 2. 取組内容

#### (1) 「追跡！廃食油」（5年生 総合的な学習）

##### ①目標

- ・廃食油を回収している方から話を聞き、環境を守る取組へ参加する思いや願いを知る。
- ・廃食油を活用している方から話を聞き、廃食油のリサイクルの価値を実感し、自分たちで回収する取組等環境保護に関してできることへの参加意識を育む。

##### ②学習内容

- ・環境バスで北海道博物館へ行き、100年後の北海道について興味・関心をもち、特に環境について調べた。
- ・学校にある廃食油コーナーなどから廃食油について関心をもつ。
- ・家庭から廃食油を集め、「エコタウン発寒」さんや「ハツキタ倶楽部」さんの協力をいただき、廃食油からスノーキャンドルに使うろうそく作りの出前授業をしていただいた。  
子どもたちは廃食油から簡単にろうそくができることを知り、「捨てるのはもったいない」「もっと集めたい。」という感想をもった。
- ・発寒地域で廃食油の回収に取り組んでいる「ハツキタ倶楽部」の方から、活動への思いに関するお話を伺った。発寒北地区は西区の中でも特に熱心に取り組んでいることなどを具体的な数値を交え



ながら話していただいた。

- ・西区で最初に廃食油の回収を提唱した「大澤コンクリート」の内山さんから、環境に与える影響やバイオディーゼルの仕組みについて、板書を交えながら予定の時間を超えて熱心にお話くださった。
- ・大澤コンクリートへ行き、実際に廃食油を精製用機械に注ぎ、回収方法やバイオディーゼル燃料にして使用している様子を見学した。
- ・1月末の地域のイベント「まち灯り」で取り組む「スノーキャンドル」に自分たちが廃食油から作ったろうそくを配り点灯してもらった。
- ・一人一人が課題をもって環境について調べ学習を行った。「環境を守る取組はほかにもあるのか」「他の地域でも廃食油を回収しているのか」「外国ではどんな取組をしているのか」などを課題としていた。
- ・今後は、「地域にもっと広めるには」「廃食油をもっと回収するには」という課題をたて、自分たちでできることを話し合い、実際に取り組む。



### 3. 成果と課題

#### (1) 成果

地域でエコ活動に取り組んでいる方々の熱い思いを知ることができ、環境に関する様々な問題を知ると同時に自分たちの地域の良さを改めて感じることができた。回収した廃食油がろうそくとなって再利用されたり、エネルギーとなって機械が動いたりする様子を目の当たりにすることにより、なかなか見えないエコ活動を実感し、子どもたちの意識の変容につながった。



#### (2) 課題

高学年の総合的な学習カリキュラムになっているが、学年の事情により適切な時期に取り組むことが容易ではなかった。子どもたちの意識を行動に移すまで時間を要する。時間の保障が大切である。5年生の社会の学習と横断的に組み、時間を作る必要がある。

また、低学年から地域に出て行き、地域をもっと子どもたちの身近にすることで、この学習の取組がより効果的になると感じた。